

施設長おすすめチョコ

バレンタインで、チョコレート市場が活発になっている中で、“日本は、義理チョコをやめよう”の広告を大胆に某有名チョコレート会社が打ち立てたことが話題になりました。農耕社会の中で、採れたものを感謝と励ましの気持ちを添えて、お互に分け合う『贈答文化』が日本にはあります。日本特有の義理チョコ文化は、バレンタインを良いきっかけとして、普段からの感謝の気持ちを伝える意味も含めて開始したはずですが、定例化し、本来の意味を見失ってきている現状を省みるための良いメッセージとなりました。改めて、心を込めたチョコを贈ろうと思いました。

いずれにしても、チョコレートには何の罪もありません。私としては、美味しく食べて幸せを感じられればそれで良いのです。

個人的な嗜好からおすすめチョコを紹介いたします。

ロッテのガー



スイス生まれのチョコ
“リンツ”



ひな人形を飾りました！



今年もロビーにひな人形を飾りました。7段飾りは豪華ですね。

ひな祭りは、いまの日本において、ひな人形を飾り雛あられや菱餅を供え、桃の花などをも飾り、白酒やちらし寿司、はまぐりのお祝い物などの飲食を楽しんで女の子の健やかな成長を願う伝統行事です。

この誰もが知る“ひな祭り”。おかしはいと少し違う行事だったのをご存知でしょうか？

華やかな女の子の成長を祈願する「ひな祭り」や「ひな人形」は、すこし怖い習わしが起源になっています。

ひな祭りの起源は、中国、漢の時代までさかのぼります。徐肇（じょちょう）という男は3人の女兒をもうけたのですが、3人とも3日以内に死んでしまったそうです。嘆き悲しむ徐肇を見た村の人々が酒を持ち寄り、亡骸を清めて水葬にしたそうです。これが日本にも伝わりました。

平安時代になると、当時の貴族階級の女の子の間では、紙の人形を使った遊び「ひいな遊び」（今で言うところの「おままごと」）が流行していました。この「ひいな遊び」と結びついて、3月3日に陰陽師を呼びお祓いをさせ、自分の生年月日を書いた紙の人形（ひとがた）に移らせて川に流すようになりました。これを「上巳の祓い」と言い、ひな人形の起源である“流し雛”が誕生したのです。

さらに江戸時代になると、人形作りの技術が向上したことで川に流すのではなく、家で飾るように変化していき、これが“ひな祭りの由来”と言われています。

知っていた方もいるとは思いますが、ここまでしっかりと話しができれば鼻高々です。 西2条リーダー 桑江

橋本からの お知らせです♪

日時 3月4日（日）
14:00~16:00

場所 駐車場・玄関前

葛西臨海水族園の
移動水族園が来ます！！

参加費無料！お子様連れOK！

遊びに来てください♪

※当日、駐車スペースも会場となります
※ご来場の際は公共機関をご利用ください。

施設での行事およびイベント紹介

【2月イベント予定】

- 2月13日（火）3条節分イベント
- 2月18日（日）日曜喫茶（ピアノ演奏付き）
- 2月23日（金）東2条誕生日会
- 2月27日（火）中2条誕生日会

【3月イベント予定】

- 3月 4日（日） 葛西臨海水族園（移動水族園）
- 3月11日（日） ショートステイ焼き芋パーティー
- 3月20日（火） 2条利用者健康診断
- 3月27日（火） 3条利用者健康診断
- 3月25日（日） ワンコインランチ（地域貢献事業）

編集後記
礼儀とは？

「礼に始まり礼に終わる…」主に柔道や剣道などの武道の基本として大事にされていることです。ただこの言葉は武道だけではなく、人間関係においても非常に重要なことだと思っています。経営の神様と言われた松下幸之助も何よりも礼を重んじました。彼は、世界中すべての国民や民族が言葉は違ってもみな同じように礼を言い、あいさつすることを人間としての自然の姿、すなわち「人の道」であるとしました。

私も高校時代に礼儀を重んじる軍隊のような特殊な世界に身を置いていたこともあり、礼儀の重要性を先輩や指導者から学ばせてもらいました。おそらく高校3年間で3億5000万回くらい挨拶したと思います。(笑)

そんな礼儀がこのところ軽視されていると感じることがあります。職場で顔を合わせても挨拶ができない人、同じマンションに住んでいるのに挨拶ができない人…。なんて挨拶ができないのか不思議でしようがないです。コミュニケーションを円滑にすることや、良好な人間関係を築くためには挨拶（礼儀）が非常に重要です。だから、挨拶しない人、できない人は人生において大きな損をしているのではないのでしょうか。

「礼儀が人を作り、礼儀が関係性を作る。」と私は思っています。

編集長

水上 健